

能勢町の新しい教育の「道しるべ」 ～教育大綱（たいこう）～



教育大綱（たいこう）とは？：能勢町がこれから5年間、教育や文化をどのように進めていくかを決めた「一番大事な方針」です。



対象となる期間：令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5年間です。



みんなで考えました：子どものワークショップで出された意見や、町の会議での議論を反映して作られています。

めざす姿は「みんなが幸せに学び、世界へ羽ばたく町」

合言葉：「知と交流」で未来を拓き、
一人ひとりのウェルビーイングを実現する、
グローバルな学びのまち・能勢。


こどもまんなか：
子どもたち一人ひとりを尊重し、
その意見を大切に
する教育を
土台に据えます。

ウェルビーイング（幸せ）：
子ども、先生、地域住民の
全員が、心身ともに健やかで
幸せを感じられる状態を
めざします。


グローバル：
能勢の良さを深く学び（ローカル）、
広い世界ともつながる（グローバル）
力を育てます。

学びのパワーアップ！「デジタル」と「能勢の自然」

12年間の「能勢オリジナル」地域一貫教育：
能勢ささゆり学園・高校がつながり、能勢の豊かな自然を「生きた教材」として学びます。



デジタルで個別にピッタリ：
ICTを活用して、一人ひとりのペース
に合わせた学びと、みんなで話し合う
学びを両立させます。



本物の体験も大切に：
デジタルだけでなく、農林業体験や
英語での交流など、五感を使った
「リアルな体験」を重視します。

誰一人取り残さない 「安心・安全」なサポート



教育と福祉のチームワーク：
困っている子や悩みがある
子を、学校・教育委員会と
町の福祉チームが
しっかり守ります。



みんなが共に学べる場：
専門職の配置や先生の専門性を高め
ることで、支援が必要な子どもたちも
安心して学べる環境を整えます。



先生の働き方改革：
デジタル化（校務DX）で
事務作業を効率化し、先生
が子ども一人ひとりと向き
合う時間を増やします。

大人も子どもも！集まり・学び・つながる拠点



学びのコミュニティ：
町外の人も巻き込んだ「学
びの場」を作り、能勢の伝統
や文化を次の世代へと伝えて
ていきます。



**新生涯学習センター（図書館）の
整備：**旧久佐々小学校の体育館を
活用し、多世代が集まる「知と交流
の拠点」を創り出します。



教育の魅力を発信：
能勢の教育の素晴らしさを
データなどで分析し、子育て
世代の方々にも届くように
発信します。

みんなで能勢の未来を創りましょう！



一緒に歩もう：
この大綱は、能勢町のみんなで共有し、地域全体で教育を進めていくための計画です。



計画を実行し、見直す（PDCA）：
具体的な指標（KPI）を設定して計画が順調に進んでいるか定期的に確認し、その結果を分かりやすく報告します。



意見をカタチに：
子どものワークショップでは「勉強ができるようになりたい」「体を動かす授業がいい」など、たくさんの声が出されました。